



**■海洋でのびみ清掃を**  
**大塚中 長谷川洋輝さん**  
 市民が参加できる海洋清掃のようないイベントを実施し、海をきれいにするにはどうすればいいか。

**■川をきれいに**  
**中原小 中野宏章さん**  
 川の近くに金網を作ったり、波田川のように桜などを植えてお祭りをしたりして、川をきれいにするにはどうすればいいか。

**■まちぐるみ大清掃**  
**真土小 小澤拓哉さん**  
 回数が増やしたことで、この多さを、また、集まったごみを減らすにはどうすればいいか。

は、多くの市民の皆さんのご協力が必要なので難しいと考へます。しかし、地域が力を合わせ、自主的に美化活動を行うこともあります。また集まったごみの量を減らすための方法については今後考えてい

たいと思います。少しづついいから街灯を増やしてほし

防犯灯を緊急性の高い場所から順番に設置しています。市の設置基準に合わない場所でも、自治会などに補助金を出して設置をお願いしています。また、現在二十の蛍光灯を八つの水銀灯に交換する事業も進めています。

外国人向けのホームページをつくり、困っている人への意見を聞くようにしてはどうでしょうか。

# 自分たちに何ができるのか、どうすればまちは良くなるのか

## きらり！平塚市青少年議会

10月29日、市議会本会議場で平塚市青少年議会が開かれました。今回参加したのは、事前に立候補した小学校5年生から中学校3年生までの18人。議長は太平洋中学校1年の川又彩夏さん、副議長には中原



**はじめは取材から**  
 子どもたちに市政に対する関心を高めるため、今年度三回目に開催している青少年議会。今回で三回目の開催になりました。青少年議会に参加した議員のみならず、議会本番の質問原稿を作成するために、夏休みを利用して勉強会を開き、事前に福祉、環境、教育などの取材を通して、市政の現状とさまざまな課題を学びました。

**■放置自転車をなくすために**  
**大塚中 谷津健紀さん**  
 駐輪場を増やし、無料にするのが必要かどうか。駐輪場の増設は必要と思いますが、用地がなく、苦労しています。仮に新たに土地を購入して駐輪場を建設することになると多くの経費がかかるため、原則として短時間の利用のときは無料にすることも考えられますが、長時間の利用のときは有料と考えるべきです。

**■交通安全対策は**  
**真土小 平井彩花さん**  
 事故の多い交差点や信号機の近くに、声をかけをする人を派遣してほしいです。

**■防犯ボランティア**  
**土沢中 山田健太さん**  
 地域ごとに防犯ボランティア組織をつくり、空き巣などの起きにくいまちにしたいです。

18人の皆さんが青少年議会議員として参加しました。

氏名	学校名	学年
中野 宏章さん	中原小学校	6年
出口 大希さん	中原小学校	6年
押川 啓哉さん	中原小学校	6年
才田 雅人さん	中原小学校	6年
山田 涼子さん	横内小学校	5年
大島ゆきさん	真土小学校	6年
平井 彩花さん	真土小学校	6年
小澤 拓哉さん	真土小学校	6年
石丸 周彬さん	真土小学校	6年
川又 彩夏さん	太平洋中学校	1年
谷津 健紀さん	太平洋中学校	1年
岡崎 創介さん	太平洋中学校	1年
稲谷 麻衣さん	太平洋中学校	1年
長谷川洋輝さん	太平洋中学校	1年
馬淵 美衣さん	太平洋中学校	1年
御手洗拓哉さん	浜島中学校	2年
山田 健太さん	土沢中学校	3年
林 彩音さん	神明中学校	3年

### 子どもが夢を描ける社会に

時間をかけて熱心に準備を重ねただけに、平塚の現状を踏まえ、要領よくまとめた発言をしてくれました。ごみ、環境、防災、福祉、交通安全、国際理解などの分野を中心に、身近な暮らしに目を向け、彼らなりの目線で地域の課題をとらえた素直さや正直さに感心し、大変うれしく思います。



市長 大蔵律子

「将来、こんなまちになってほしい」とか、「こんな学校があったらいいな」とか、明日をつくる子どもたちが夢を描けないほど悲しいことはありません。1年後、あるいは、彼らが大人になったとき、どんなふうに成長し、現在の目線とは違うとらえ方や考え方に変わっていくか注目したいと思っています。

### ひらつかメールマガジン

電子メールで、市長コラムやイベント情報などをお知らせしています。平塚市ホームページの登録ページからお申し込みできます。今回の記事(抜粋)は、平成17年11月5日号に掲載したものです。

**■二期制のメリットは**  
**浜島中 御手洗拓哉さん**  
 一学期制を導入したことによるメリットと今後の課題はどんなものがあるか。

**■交通安全の授業を**  
**真土小 大島ゆきさん**  
 小・中学校の授業で、必ず交通安全運動について取り上げるようにしてほしい。

**■サイクルは大切なこと**  
**真土小 石丸周彬さん**  
 サイクル情報を集めた雑誌などを発行することで、市民にもっと知ってもらえるようにしてほしい。

**■みんなが楽しめるスポーツ**  
**大塚中 岡崎創介さん**  
 障害のある方も一緒に参加でき、楽しめるスポーツ大会を企画してほしい。

**■おたのび基金のPRを**  
**中原小 才田雅人さん**  
 みどりの基金を広報やケーブルテレビなどで知らせしてほしい。

**■放火防止策として**  
**大塚中 岡崎創介さん**  
 「注意看板を設置する」、「注意看板を撤去する」、「道路の色を変える」、「夜間でもわかる点滅標識を増やす」などの対策をとりたいです。

**■放火防止策として**  
**大塚中 岡崎創介さん**  
 「注意看板を設置する」、「注意看板を撤去する」、「道路の色を変える」、「夜間でもわかる点滅標識を増やす」などの対策をとりたいです。

**■放火防止策として**  
**大塚中 岡崎創介さん**  
 「注意看板を設置する」、「注意看板を撤去する」、「道路の色を変える」、「夜間でもわかる点滅標識を増やす」などの対策をとりたいです。

**■放火防止策として**  
**大塚中 岡崎創介さん**  
 「注意看板を設置する」、「注意看板を撤去する」、「道路の色を変える」、「夜間でもわかる点滅標識を増やす」などの対策をとりたいです。

### 子どもたちのパートナー

#### 平塚市ジュニア・リーダー養成講習会

様々なプログラムを体験する中で、友情と交流の輪を築くほか、集団生活の礼儀や決まりなど、リーダーとして必要な知識や技術を得るための講習会。参加された皆さんは、子ども会などの地域活動や青少年活動に積極的にかかわるなど、講習会で得た知識や技術を実践の場で生かしています。

・対象 市内在住の中学生  
 ・開催期日 4月から12月までに8回。(宿泊研修・福祉体験など)  
 ・その他 講習会を修了した人は、平塚市ジュニア・リーダーズクラブに入会することができます。

### はじめて遊ぼう

#### ●子どもの家

子どもたちが自由に伸び伸びと遊び、成長することを願って、小・中学生や付き添いのいる幼児に開放しています。木の温もりがあるログハウス(丸太小屋)の中にはプレイルームや図書室、屋根裏アスレチックなどがあり、雨の日も楽しく遊べます。

なお、折り紙教室などの自主事業を子ども会ごとに開催しています。

- ・子どもの家 横内子どもの家(☎53-1430)、山城子どもの家(☎35-8893)、みなと子どもの家(☎23-2815)、大野子どもの家(☎32-6960)
- ・利用時間 午前10時～午後5時(学校が休みの日は午前9時から)
- ・休館日 毎月第3日曜日、年末年始

### 悩みごと、心配ごとを受け付け

#### 青少年相談室

- ・青少年相談 本人や家族からの相談を来室または電話で受け付けています。解決の難しいケースについては、中央児童相談所などの専門機関と連絡をとりながら指導にあたっています。(受付時間) 月～土曜日(祝日・年末年始は休業) 午前10時～午後6時30分 (連絡先) 平塚市見附町15-1 市民センター2階 (電話) 0463-34-7311
- ・ヤングテレホン 青少年を対象に、悩みなどの相談を専門の相談員が電話で受けています。電話は0463-33-7830(ミニデナヤミナシ)、手紙での相談も受け付けています。ご利用ください。

性別	学校生活	学業・進路・進学	家族関係	身上一切	対人関係	不登校	その他
男子 423人	132人	74人	53人	38人	36人	56人	34人
女子 207人	76人	25人	18人	15人	14人	53人	6人

### 自然と友達

#### びわ青少年の家

青少年が、自然の中で様々な体験を通して心身を養っていくための施設です。宿泊棟、多目的ホールのほか、キャンプサイトや散策コースなどがあります。楽しい遊びや共同生活を通して、それぞれの心の中に新しい何かが発見できる場所です。ぜひ、自然が満喫できるびわの里で、すてきな体験を味わってください。

- ・利用できる方 市内在住・在学・在勤の青少年、青少年育成関係者(1団体10人以上)
- ・利用申し込み 利用日の3か月前の1日から。(夏休みの利用は抽選)
- ・申し込み先 びわ青少年の家(☎ 59-0871 FAX 59-7447)